



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社九州フィナンシャルグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 笠原 慶久
コード番号 7180 東証プライム市場・福証
問 合 せ 先 上席執行役員経営企画部長 濱田 康裕
(TEL 096-326-5588)

当社子会社・株式会社肥後銀行によるデータセンターの建設に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社肥後銀行（本社：熊本県熊本市 代表取締役頭取：笠原慶久）は、本日開催の取締役会において、データセンターを建設することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 建設の主旨

肥後銀行は持続可能な地域社会の発展に貢献するため、肥後銀行の利用に加え、地域のお客さまも利用いただけるデータセンター（以下「DC」という）を新たに建設します。このDCは、熊本地震や豪雨災害などの自然災害の経験を踏まえ、災害に強いITインフラを構築し、地域企業の事業継続性を向上させることを目的としています。

地域のお客さまがデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する中で、セキュリティや安全性を備えたDCは重要なインフラであり、最新技術を採用したDCを地域内に整備することで地域全体のDX推進を支援します。さらに、環境への配慮として、省エネ技術や再生可能エネルギーを活用し、ゼロカーボンを実現する取り組みも進めていきます。肥後銀行は、このDC建設を通じて銀行システムの健全性を確保しつつ、地域企業や熊本地域全体の発展を支えるとともに、持続可能な地域社会の構築に貢献してまいります。

2. DCの主な特徴

（1）災害に強い構造

- ①震度7クラスの地震に対しても運用可能な免震構造
- ②電気設備の冗長化に加え、非常用発電機による電源バックアップ
- ③電気・通信設備、サーバールーム等の重要設備を全て建物の2階以上へ設置

（2）高いセキュリティ水準

- ①敷地入口からサーバーラックまでの多段階のセキュリティチェック
- ②DC内統合監視センターでの24時間365日監視体制の構築
- ③技術者の常駐による緊急時の迅速対応

（3）各種DC評価基準等への準拠

- ①JDCCファシリティスタンダード「ティア4」相当
- ②金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準（FISC 安全対策基準）

3. 運用開始予定

2029 年 1 月

以 上

<設備概要>

所 在 地	熊本県熊本市
運 用 開 始	2029 年 1 月 予 定
建 物 構 造	建物免震
延 床 面 積	4,200 m ²
ラ ッ ク 数	約 260 ラック (GPU 高集積サーバー設置にも対応) ※うち約 200 ラックは地域のお客さま賃貸サービスを提供予定
床 荷 重	約 1,500kg/m ²
電 源 設 備	無停電電源装置：冗長構成 非常用発電機：冗長構成 無給油連続運転時間：72 時間
供 給 電 力	実効 4.5kVA/ラック (30.0kVA 程度の GPU サーバーも設置可能)
空 調 設 備	冗長構成
付 帯 設 備	サーバーアクセスブース、キッティング作業室など
セ キ ュ リ テ ィ	24 時間 365 日有人監視、各種ゲート、生体認証、監視カメラなど
通 信 回 線	マルチキャリア、複数系統により引込
基 準	・ JDCC ファシリティスタンダード ティア 4 相当 ・ FISC 安全対策基準適合 (金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準)
災 害 対 策	耐震グレード「特級」、震度 7 クラスまで耐えうる構造 熊本市ハザードマップ基準上の浸水リスクを建物構造対策により回避